

麻生区区民会議 第1回（仮称）安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成24年10月9日（火）午後3時00分～午後5時10分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：〔（仮）安全・安心のまちづくり部会委員〕

加賀美委員、村主委員、高倉委員、高瀬委員、田中委員、長谷川委員、
横山委員、吉田委員（梶委員、久保倉委員は欠席）

〔事務局〕

安生企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

〔関係課〕

山田危機管理担当課長、福土高齢者支援課長

4 傍聴者 なし

5 議 事

（1）正副部会長の選出について

【説明事項】

- ・事務局より、専門部会の正副部会長の選出をお願いしたい旨伝達。第3期では副部会長を1名選任してもらっていたことを報告。

【決定事項】

- ・（仮）安全・安心のまちづくり部会の部会長は村主委員の立候補を受けて決定。
- ・副部会長は高倉委員に決定。
- ・高倉副部会長の企画部会所属については、第3回企画部会（11/5）に諮る。

（主な意見）

- ・企画部会委員との人数的なバランス・兼ね合いを考慮し、高倉委員に企画部会への所属を依頼したい。

（2）調査審議課題の選定等について

【説明事項】

- ・事務局より、資料2「第1回専門部会の進め方について（イメージ）」、資料3「第1～3期区民会議審議一覧（7区）」について説明。
- ・各委員から調査審議テーマに関する意見を発表。

【決定事項】

- ・区民の関心も高く、委員の多くから意見の出た大規模地震に対する防災対策に関し取り組んでいく。

（主な意見）

- ・区民の関心が高い地震に関係し「大規模地震への備え」をテーマに考えるとき、課題は広範囲に亘るが、そのうち最も人命にかかわる地震直後から帰宅までの「緊急避難」への備えを

まず取り上げたい。

- ・まず自らが身（生命）を守ることが大切であり、その後共助へとつながり互いに助け合う段階となる。
- ・防災用品や水・食料などの確保、地域でのコミュニケーション、避難所の整備等も重要。
- ・地震災害の発生後は、互いに助け合うことが重要であり、地域におけるコミュニケーション・コミュニティの確立が大切である。
- ・コミュニティの充実・活性化を含めた防災対策が必要であり、コミュニティ毎の連携や隣近所の協力も欠かせない。
- ・町会及び商店会などでも避難訓練や防災訓練を実施しているが、実際に地震が起きたときに具体的にどうすれば良いか、体で覚えてもらうことが必要。
- ・「防災」に関する実態を把握することから始め、行政の防災計画、区民の防災への意識・準備などを整理し、区民の防災意識の改革、訓練の実施・参加促進、日常のコミュニティづくりなどに繋げる。
- ・住民の立場から考え、住民自らが獲得していく姿勢づくりが大切。できる範囲で住民から提案し、実現に向けて取組んでいくことが重要。
- ・モデルケースを設定し、「住まいの耐震安全点検大作戦」を実施することを提案したい。今年度中に対象地区を選定、来年度に住民説明・アンケートなどを行い、区民フォーラムで発表・区に提案する予定を考えている。
- ・チラシやパンフレットを配布するだけでは区民の防災意識は向上しないので、浸透させることを課題とすることも考えられる。
- ・避難所に関する情報の提供（サインや案内板などの整備）も重要。
- ・地域における「防災」への対策については、自主防災組織が中心となって行われている。
- ・行政においても地域防災計画の見直しの取り組みを進め、防災訓練の実施や防災に関する情報の提供（パンフレットや携帯版のPR資料などの作成）も行っている。
- ・福祉の推進に関しては、厳しい状況に置かれながら放置されている区民への対応として、「総合相談窓口」の設置を検討したい。
- ・「防災」「福祉の推進」の審議が進んだ段階で、両テーマに共通する「小地域コミュニティの活性化」の検討協議を進めるという順番で審議を行うことも考えられる。

（３）審議テーマ・部会名の決定について

◆審議テーマについて

【決定事項】

- ・（仮）安全・安心のまちづくり部会の審議テーマは、「大地震から助かる命を守る」とする。
- ・「防災」のうち、事前対策と緊急避難に関する部分から調査審議を進める。
- ・順次、審議テーマの検討協議が終了した時点で、次の審議テーマを検討し決定する。

（主な意見）

- ・公助が立ち上がるまで、自助・共助により助かる命を守ることが重要。区民会議から区民に対し、その部分で行政が行き届かないところを課題としていきたい。

◆部会名の決定について

【決定事項】

- ・部会名は、仮称を外して「安全・安心のまちづくり部会」とする。

(4) その他

◆会議開催のスケジュールについて

【決定事項】

- ・部会の開催スケジュールは、毎月第2火曜日、15時～17時とする。
- ・第2回（11/13（火））は、1時間早い開始（14時スタート）として勉強会を先に開催し、行政担当者から「防災」に関する取り組みの状況説明を1時間程度受ける。
- ・第3回は12/11、第4回は1/8とする。

(主な意見)

- ・会議日程は、数ヶ月先まで決まっていたほうが出席しやすい。
- ・第2回目は、行政担当者から「防災」に関する取り組み状況などを説明してもらい、その後専門部会として取り組んでいく調査審議内容（詳細な項目）を検討協議する。

以上